



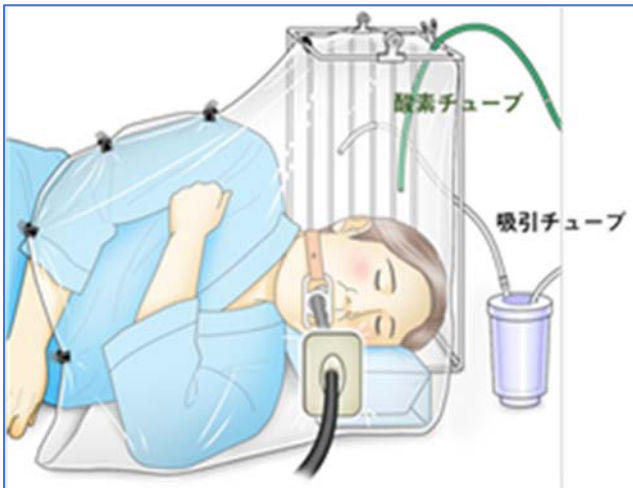
2020年8月19日

## 消化器内視鏡用新型コロナウイルス感染防御システムの製品開発に関するお知らせ

大倉工業株式会社と国立大学法人 香川大学（以下「香川大学」）は、協働にて消化器内視鏡用新型コロナウイルス感染防御システムの製品開発を開始しました。

香川大学医学部附属病院消化器内科（科長：正木勉教授）の小原英幹講師、西山典子医員（西山脳神経外科病院消化器内科医師・香川大学医学部臨床講師）、創造工学部造形・メディアデザインコース大場晴夫教授らは、飛沫拡散リスクのある消化器内視鏡検査等の各種検査時における、患者側を被覆したフィルム空間の陰圧化による患者・医療従事者間の直接接触・暴露予防と室内飛散を防止するシステムを発案、コンセプトモデルを医工連携にて製作しました。

### 開発前モデル案と量産化コンセプト



### 今回考案した製品の主な特徴

1. 被覆フィルム空間内の陰圧化による室内への飛沫拡散の最小限化
2. 飛沫が付着する部材の使い捨て（ディスポーザブル化）による消毒作業等の省力化

当社は、香川大学にて製作されたコンセプトモデルを基に、長年培ってきたプラスチックフィルムに関する知見を活かし、量産化のための製品開発を担います。

各種検査を受けられる患者の皆様の安全、安心に対するニーズに応え、医療に従事される方々への飛沫感染や身体的負担を抑えられるよう、一日でも早く製品開発を完了できるよう努めてまいります。

また、本開発に関して当社は、2020年8月5日付けにて香川県より令和2年度健康関連製品開発促進支援事業費補助金の補助事業者として採択されております。

大倉工業グループは、今後も政府や自治体、各種研究機関とも連携を図りながら、新型コロナウイルス感染拡大予防の一助になる活動を続けてまいります。

以上

（お問い合わせ先）

大倉工業株式会社 総務部総務課

TEL：0877-56-1101